

自神発第 0138 号

2017 年 12 月 12 日

各県本部、単組 御中

自治労神奈川県本部
中央執行委員長 蓼沼 宏幸
(総務財政局)

「雫（しずく）ちゃんに海外で心臓移植を」 救援カンパのお礼について

連日のご奮闘に心より敬意を表します。

さて、自治労神奈川県本部では構成単組である横須賀市職員労働組合と支援団体からの要請で、同年 8 月から協力を要請しておりました標記カンパについて、各都道府県本部また、各単組の多大なるご理解とご協力をいただき、総額 29,954,209 円（12 月 8 日現在）のカンパを集約することができました。短期間にもかかわらず早急な取り組みをいただき、深く感謝申し上げます。

また、しずくちゃんを救う会から連絡をいただき、年内中には目標金額に達する見込みであることがご報告されました。

つきましては、しずくちゃんの心臓移植手術が無事成功し、再び元気な姿で学校に行くことが最終目標ではありますが、取り急ぎ心臓移植手術に伴う費用の準備が整ったことへのご報告とお礼とさせていただきます。

別紙はしずくちゃんのお父様であり横須賀市職労組合員の岡崎俊さんと「しずくちゃんを救う会」代表の池井将さんより、お礼文が届いておりますので併せてご紹介いたします。

※カンパ金の最終集約につきましては、急ではございますが、12月18日(月)で締め切らせていただきます。何卒ご理解の程よろしく申し上げます。

お問い合わせ先

自治労神奈川県本部総務財政局（加藤）

TEL045-251-9711

難病の心筋症（左室心筋緻密化障害）を患う娘の米国での渡航移植を目指すなかで当初からご協力を表明していただき、精神的な支柱となるとともに大きなご支援をいただきました皆さまに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

まだ道半ばではございますが、目標額まであと一步のところまでできています。こういった応援が原動力となり、日々の活動に取り組むことができている。この後も目標額を目指し、そして、最終目標である一刻も早い渡航移植を目指して取り組んでまいりたい所存です。

娘は現在、前向きな気持ちを保つこと、移植に耐えられる体力を維持することなど、日々目標をもって過ごしています。親としては、心機能がこれ以上落ちないで渡航することができるかどうかを心配してしまうこともありますが、これまで幾度となく命の危機を乗り越えてきた娘を信じています。

どうか引き続き温かく見守っていただけますようお願い申し上げます。

岡崎 俊哉

この度は渡航移植に向けた募金活動へのたくさんのご協力と応援をいただきまして心より感謝申し上げます。

皆様から頂戴しました力強いご支援のおかげで当会は3億1千万円の目標に対して大きく近づくこととなりました。当会の終盤の活動に向けて大きな活力となります。会一同としても、御礼申し上げます。

しかし、まだ目標額に達したわけではありません。気を引き締めてこれからも活動していき、年明けには目標額達成の目途を立てて、可能な限り早期にしずくちゃんと家族を米国に送り出したいと考えています。小さな子どもの回復を願う多くの皆さまのお心が無駄にせず、私たち救う会一同これからもしずくちゃんの未来を守っていけるよう、努力する次第です。

これまでの多くのご支援に感謝申し上げますとともに、今後とも皆様の暖かいご支援、ご協力の程、よろしくようお願い申し上げます。

しずくちゃんを救う会 代表 池井 将